



各委員会の活動



総務産業建設常任委員会

本委員会所管の総務課、政策財務課、産業課、建設課が取り組んでいる実施計画全74事業について、各課と意見交換会を行いました。5日間に渡る活発な意見交換によって、提案等を含み諸課題が共有されました。町民の皆様にとってより良い事業へ発展するよう取り組んでまいります。



文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会の所管は生活課および教育委員会（教育課、子ども課）の分掌事務です。昨年度においては新型コロナウイルスの対応について（インフルエンザ予防接種の町補助など）の要望書の取りまとめや学校での感染予防対策の視察などを行いました。



広報広聴特別委員会

令和3年1月25日発行をもって記念すべき200号を迎えました。これからも常に町民にとって議会が身近な存在である様な紙面づくりを行ってまいります。町民皆さまからの「議会だより」に関するご意見やご感想をお待ちしております。

活発な委員会活動を行っています

「全国地方議会サミット2021」オンラインで参加

7月7日～8日「社会の変化やデジタルで議会が変革する」をテーマに研修を行いました。コロナ禍によりオンラインでの参加になりましたが、先進議会の実践から議会事務局、メディアのあり方まで様々な講義を受けました。

自然災害はいつ起きるか分かりません。いついかなる時でも議会活動が継続できる体制を整える必要があるということを感じました。



議会改革特別委員会

課題として「議員報酬について」「常任委員会数減になったことによる効果と弊害の検証」「議会先例集の検証」「政務活動費の検討」を精査検討し、議員総意の課題として「開かれた議会」を目的とした改革を提案していきたいと考えます。



行財政改革検討特別委員会

委員6名で「公共交通（交通弱者）についてのあり方について」「財政健全化への取り組みの検証について」など活発な議論をしております。また、念願である新坂下厚生総合病院への路線バスの乗り入れや停留所の整備の提案など、担当課職員を交えて意見交換も行っています。



みんなのひろば

縁あって喜多方市高郷町から嫁いで40?年。町外の職場から晩(ばんげ)に坂下に寝に帰るような生活でした。認知の入った義母の介護の為57歳で退職。町からのオムツ券・オムツのゴミ袋・ケアマネ・訪問看護・訪問診療等々、地域や大勢の方々に励まされ、助言を頂き「私一人で看ているのではない。義母は生かされている」と気づきました。平成30年9月に悔いなく義母を見送る事が出来ました。今でも多くの方々に感謝しております。突然平成30年度末でオムツ券が廃止。私をはじめ在宅介護の方々にはビックリ・ガックリ! 傾聴ボランティア・在宅介護者同士のつづやきサロン等を立ち上げましたが、オムツ券の復活が在宅介護への心のケアだと思い、オムツ券復活の署名を集めました。前齋藤町長からの引継により、6月議会で前向きな答弁をいただきました。福祉に優しい、安心して生活できる笑顔あふれる会津坂下町を望んでやみません。署名に協力いただいた多くの方に感謝です。



高波久子さん (中村)

感謝



佐藤慶子さん (塔寺)

未来の子供たちへ

「我が町の未来は子供たちの双肩にかかっている」
こんな言葉が書かれていた大きな看板が近隣の町に掲げられていた時代がありました。当時の中学校では嵐が吹き荒れ、その対応に心を痛める日々だったように思います。そんな中、子育て世代の親達へ叱咤激励のメッセージとして掲げられたものではないかと推測します。現在この看板は取り払われ、当時の子供たちも40歳を超え、町の担い手となつていらつしやると思います。子供たちは成長の過程で多くの人と関わっていきます。その関わりが子供たちの育ちに大きな財産になると思います。家庭・地域みんなで「子供たちを大切に育てる」ということを考えて行くことができると考えます。
子育ても卒業し、孫との関わりの中で特に自分の子育て時の反省をする毎日です。どうぞ未来の町のために、子供と保護者の両面からサポートをお願いいたします。

次回定例会のご案内

令和3年第3回定例会は、9月2日(木)から9月14日(火)までの会期(予定)です。一般質問は6日(月)、7日(火)午前10時開会予定です。傍聴にぜひお越しください。傍聴の際はマスクの着用をお願いいたします。

永年勤続功労者表彰 (議会議員 21年以上在籍)



五十嵐一夫 議員



表題字提供

田んぼで踊っている時の空や田、花笠の色を用いて書きました。田畑の風景を感じてもらえたら嬉しいです。



会津農林高校3年 山内里紗さん (早乙女踊り保存クラブ部長)

ありがとうございました!

編集後記

コロナ禍の中、高齢者を中心にワクチン接種が当町でも始まっております。東京では、賛否両論異例の中、オリンピック・パリリンピックが行われ、アスリートたちの熱い戦いが繰り広げられています。どのような結果であろうと自分の力を出し切ることができれば最良かと。コロナ禍でなければ、国民全体で1964年当時を思い出しながら大会を見守ることができただろうと思います。静岡県熱海市で起きた大雨による土石流。多くの方が犠牲になられ心が痛む思いです。救助や現場で対応なされた方々へ労をねぎらうとともに、いつ来るかわからない自然災害に立ち向かう地域消防団の方や関係者各位へ一刻も早いワクチン接種を望みます。(委員長 青木美貴子)

広報広聴特別委員会

- 委員長 青木美貴子
- 副委員長 横山 智代
- 委員 目黒 克博
- 委員 蓮沼 文明
- 委員 小畑 博司

※ 本誌掲載記事写真等の無断転載を禁じます。